

歌って、踊って、笑って、食べて。
道の駅国見あつかしの郷
開業2周年記念イベント開催



1町長の挨拶でイベントが開幕 2軽快なサウンドを響かせたエイジド・スーパームーン 3仮装で会場を盛り上げたカラオケあつかし会 4今年も参加したイン・ザ・ウィンド 5かわいいダンスや本格的ダンスを披露した923Mo'SKLZ 6自分でついたお餅の味は格別 7道の駅が常夏気分。くにみフクラクラブ 8バルーンアートに目が釘づけ

開業2周年を迎えた道の駅国見あつかしの郷では、ゴールデンウィーク中に、さまざまな記念の催しが行われました。先月号に引き続き、5月3日、4日の様子をお知らせします。

中央広場に設けられた特設ステージでは、町内の文化団体によるダンス、バンド演奏、お笑いライブ、バルーンアートなど多彩な催しが行われました。

また、会場に来た子どもたちと農家のお母さん、お父さんが一緒に行う「ちびっ子餅つき大会」は、大好評。つき上がった餅は、子どもたちをはじめ、たくさんの方々に配られ、「おいしい」の大合唱でした。

2日間にわたって行われた記念事業のフィナーレ

は、伊藤咲子さんのミニライブでした。自身のヒット曲と軽快なおしゃべりなどで、観客を魅了しました。この期間中、道の駅ではこの他にもさまざまな催しが開かれ、県内外から多くの人たちが来場し、賑わいました。



▶新たな時代の幕開けを記念

『令和』への改元をお祝い
平成から令和へ改元された5月1日、道の駅国見あつかしの郷では、300人の来場者に紅白まんじゅうを振る舞いました。太田久雄町長が「改元のお祝いと令和への希望を込めて配ります」とあいさつ。祝福ムードに包まれる中、受け取った人たちは、思いもかけないおもてなしに、みんな笑顔でした。



1華やかな衣装で登場した伊藤さん 2目の前に来た伊藤さんに観客は大興奮でした 3観客席が埋め尽くされ、伊藤さんの歌声に会場が酔いしれました



▶賑わいをみせた道の駅



▶めだかすくいにチャレンジ

改良めだか展示・直売会
こどもの日の5月5日、道の駅国見あつかしの郷で、福島めだか愛好会による改良めだか展示・直売会が行われ、道の駅を訪れた人々がこの日限定でずらりと並んだ珍しいめだかをじっくりと眺めていました。また、めだかすくいも行われ、多くの家族連れが楽しみました。